

「保育」の原点107

チャイルドシートについて

文 葛西得男

text by Tokuo Kassai



内藤寿七郎著
『育児の原理』

然に心臓
停止にな
ることも
考えられ
ます。

赤 ちゃんは大人の縮小版と思われがちですが、生きるためのいろいろな機能は未熟で、扱いを間違えると、後々それが後遺症となる場合があります。

たとえば、赤ちゃんの頭部は相対的に重く、それを支える首の筋肉も弱いので、事故の時体の他の部位より衝撃を受けやすいのです。さらに、脳を保護する頭蓋骨や脳血管は、構造的、機能的にまだ完全ではありません。0歳児、特に6カ月までの赤ちゃんは、万一、縦抱きにした場合、上下に軽くあやすのはよいのですが、前後に強くゆすると、時として脳出血を起こして後遺症が出たり、さらに死亡したりすることさえあるといわれています。

また、赤ちゃんは、男の子も女の子もおなかをふくらませて息をする腹式呼吸ですから、おなかをふくらむのを妨げないことが大切です。健康な赤ちゃんでも鼻がつまりやすい上、うつ伏せ寝やおなかを圧迫するような姿勢で寝かせると酸素欠乏状態になります。そういった場合、突

このようなことを考えると、6カ月までは、おなかを圧迫しない仰向けの姿勢で寝かせてあげてください。動きが活発になる6カ月以降も、前述した生理的な特性がまだ残っているの、赤ちゃんが眠った場合は、やはり仰向けの姿勢で寝かせてあげるのがよいでしょう。

チャイルドシートは、そういった赤ちゃんの生理的な特性を十分に考え、本当に赤ちゃんを守るべきものであるべきです。

通産省（現経済産業省）、製品安全協会が規定している（乳母車の認定基準）のA型ベビーカー、B型ベビーカーの背もたれ角度や使用時間は、チャイルドシートにも十分参考にできます。ほぼ同じ頃の赤ちゃんに使用するものですから、それを十分に参考にして応用してください。

幼い子どもを総称してチャイルドといいますが、私は、「チャイルド」は幼児期の子どもを指し、「ベビー」は0歳児のことを指すと考えています。「チャイルドシート」という言葉は、「ベビー&チャイルドシート」という方がより適切ではないかと思えます。

『育児の原理』より



Profile

1950年12月8日大阪に生まれる。
1972年、追手門学院大学卒業後、米国ボストンカレッジに留学。
1975年に帰国後、アップリカ葛西に入社。営業部、副社長、社長を経て、1996年に社会福祉法人 松稲会 理事長に就任。
松稲会は社会福祉法人として高齢者介護施設「アップリケア」と認可保育園マザーシップ保育園を運営している。
アップリカ葛西 副社長時代に国連環境計画（UNEP）のスペシャルアドバイザーとして子供たちのために地球環境問題を考えるプロジェクトに参画し、世界の賛同者と世界会議、イベント普及活動などを行いながらその人脈などを広げ現在に至る。